年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共 **単位数: 2 単位** 

 数料: 公民
 利息: 公共

 対象学年組:第
 2 学年
 1 組~
 8 組

 教科担当者: (1・2・4・6・7組:安久津 ) (3・5・8組 山倉 ) 使用教者書: (東京書籍「公共」

教科 公民 の目標:

【知 謙 及 び 技 能 】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸謀題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断した りする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される。人間としての在り方生き方についての自覚や。国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

の目標:

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 公共的な空間をつくる私たち 一社会のなり状態)。 「一社会のなり状態」。 「一社会のなり状態」。 「一社会のなり状態」。 「一世会のなり状態」。 「一世会のなりません。 「思考力、判断力、表現力等 「音年期の特徴と自己形成の職態。 「思考力、判断力、表現力等 「音年明の特徴として形成の職態。 「現大・社会・伝統と文化の三つの現然から提えた人 「学びに関かう力、人間性等 「音年期の特徴と自己形成の職態。個人・社会・伝統と文化の三つの現然から提えた人 「会社会」、「は、日本の一般では、「日本の一般で	・指導車項 公共的な空間をつくる私たち 上表のなかの自己 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識、技能】 様々な資料からなう。 影影表がませまった。 影影表がませまった。 新型表がませまった。 また。 東京の関係が必要を表した側のあり方について、多面 の、多角的に対象し、表現している。 【主体的に学習に取り報と態度) 作用の物像としておなの理解。個、社会、伝統と文 化の二の現底から捉えた人間のあり方について。自分 日本体のに学習に取り報と態度) 化の二の現底から捉えた人間のあり方について。自分 日本体のとなった。 日本体のとなった。 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	0	0	0	5
	公共的な空間における人間としての 在り分生きた。井に生きるため倫理 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「報告のな異れた。必要な情報を適切かつ効 様果的に受し、 「記事ない事」が、表現力、選択する際の 手がかりとなるが自主義や複数論などの考 手がかりとなるが自主義や複数論などの考 よがを指用して全命倫理を機能関について多面的・多角的に考察し、表現する。 「学びに向かう人人間性等」 「現代の故かなどの考え方を活用し、現代の諸議機関について多面的・多角的に考察し、表現する。 現代の諸議機能について主体的に追究する。	・指導事項 公共的な空間における人間としての 在り力生き方一井に生きるための倫理 ・教材 教件書、資料集、ワーク、各自端末	【知識、共経】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 認み取り、まとめている。 【思考、判断、大阪、判断し選択する額の手がかりとな の利利。資格の動物となっ考え方を活用して、生命倫理 で「選集局性」のいて多価的、多角的に一等なし、表現して 「主体的に一等に取り組化器型」 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸議 関について主体的に追究している。	0	0	0	7
1	定期考查			0	0		1
学期	○ 共市が左側における基本的原理 一般とちの民主的な社会 「知識及び技能」 振りに変し、変更な情報を適切かつ効果的に定理し、認み取りまとめる。 「思考力、明制か、必見力等」 に思考り、明制が、必見力等」 に思考り、明制、が見力等」 は一般である。 上記者、ため文配と立葉主義などの意象と 主義、ため文配と立葉主義などの意象と 大利を実現することの課題である。 「学びに向かうか」人間性等」 「学びに向かうか」人間性等」 に対することの表現を表現を表現を と立れるを実現する。 に対することの表現を と立れるを実現する。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるをままる。 これるを実現する。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現する。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるを実現をままる。 これるをまる。 これるをままる。 これるをまる。 これるをまる。 これるをまる。 これるをまる。 これるをまる。 これるをまる。 これるをまる。 これるをまるをまる。 これるをまるをまる。 これるをまるをまる。 これるをまるをまる。 これるをまるをまる。 これるをまるをまる。 これるをまるをまるをまる。 これるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまるをまる	・指導事業 公本的な受別における基本的原理 一私たちの民主的な社会 ・数材 数件書、資料集、ワーク、各自端末	知識、非報】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 認み取り、まとめている。 (思考、判断、映明) 公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の 交社と立業主義との意象ともれるを実現する上での議 (主体的に一等習に取り報化を譲引、表している。 主体的に一等習に取り報化を譲引 の支配と立業主義との意象ともれるを実現する上での 就能の支配と立業主義といる基本の表しました。 の支配と立業主義といる重要とそれらを実現する上での 類極について、主体的に追索している。	0	0	0	10
	及主政府と私たち 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「経力な変わか」。必要な情報を適切かつ効 素的に収離し、終み取りまとめる。 「思想り上、一般ない。」 「思想り上、一般ない。」 「思想り上、一般ない。」 「思想」と、「表情報」。 政府のしくみ 必選用しかから多種的・多角的に考察 して、実現の報名。 「学びに向か多、新報報」。 対称のしくみ 空運用とかかる。 新聞についくみ 空運用とかかる。 新聞についくみ 空運用とからま趣館について、 で選用とかかる。 新聞について、 の変現の最近から主機等。 対称のしくみ 空運用とかかる。 新聞について、 の変現の観点から主体的に追究する。	・指導事項 民主政治と私たち ・数材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	「知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 認み取り、まとめている。 【思考・制能・表現「機構、 政治のしくみや選用にかか を対し、 表現「機構、 政治のしくみや選用にかか を判的に参考し、 表現している。 【主体的に学習に取り組制度】 技術と民社主義。 後述の法律が必要があり、 記述のという。 「記述のという。」 「記述のという。 「記述のという。」 「記述のという。 「記述のといる。 「記述のという。 「記述のといる。 「記述のといる。 「記述のといる。 「記述のといる。 「記述のといる。 「記述のといる。 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述し、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと、 「記述のと 「記述のと 「記述のと 「記述のと 「記述のと 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「記述の 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
	E. 庄の働きと払たち 「加震な技能」等な推奨を適切かつ効果をなるを対している。 をなるを料からあるできません。 と思考が、判断が、表現のできません。 まと考え、判断が、表現のできない。 をでしないで、多面的・多角 は等質は、必要が、同様のしくみと司 は多かので変となる。 「単学ないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずないので変となる。 はずない。 はずなない。 はずなな。 はずなない。 はずななない。 はずなない。 はずなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	・指導事項 法の働きと払たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 様々な要付ける。 地方域のでは、 はたで規則の意義・役割、司法のしくみと司法参加の意義 などについて、金融の・多舎的に考し、表現してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 はた税率の意義と役割、司法のしくみと司法参加の意義 などについて、主体的に追索している。				10
2	定期考查			0	0		1
学期	・経済社会で生きる私たち 出知度な技能 様々な保持から、必要な情報を適切かつ効 現のに実施、出水取り、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済新聞、市場経みのしくみと政府の役 制、国民所得と経済成長、金盤のしくみと 動き、財政の働きに関節などので、必要のしくのと に関係していて、多 出的・多角的に考館し、表現する。 促済時間、市場協議ののくなと政府の役 は済齢間、市場協議ののくなと政府の役 は済齢間、市場協議ののくなと政府の役 は済齢間、市場協議ののくなと政府の役 は済齢間、市場協議ののくなど が、またいで、またいで、またいで、またいで、またので、またいで、またので、またいで、またいで、またいで、またいで、またいで、またいで、またいで、またい	- 指導事項 経済社会で生きる私たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	知識、注差] 様々な資格から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 能み取り、まとめている。 「思考・判断、疾動」 「思考・判断、疾動」 経済循環、市場経済の人、みと政府の役割。 国民所得と 経済成果、金融のしくみく働き、財政の働きと課題など について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に別報と問題】 経済成果、金融のしくみと数件の役割。 国民所得と 経済成果、金融のしくみと動き、財政の働きと課題など について、主体的に遊光している。				10
	定期考查			0	0		1
H	G_私たちの職業生活	<ul> <li>指導事項</li> </ul>	【知識・技能】	J	J		1
3	「知識及び味能」 採水な安料から、必要な情報を適切かつ効 税的に収集し、説み取り、まとめる。 「思考力、判断力、表現力等」 樹くことの意義、産業社会の発達と職業の 変化、労働者の解除と労働に上などについ で、多面前・多角的で新し、表現する。 「学びに向かう力、人間性等 樹くとの意義、産業社会の発達と職業の 変化、労働者の機能と労働に上などについ で、土体的に追究する。	私たちの職業生活 ・教材 ・教科書、資料集、ワーク、各自端末	様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 述み取りませないる。 【思考・判断・表現】 報くことの意象、産業社会の発達と職業の変化、労働者 の権利と労働三法などについて、多面的・多角的に考察 し、表現している。 【主体的に学者に取り組む態度】 報くことの意象、産業社会の発達と職業の変化、労働者 の権利と労働三法などについて、主体的に追究してい る。				5
9 学期	国際上谷の水かで生きる私たち 即無数な性態 間を大な発わらう。必要な情報と適切かつ効 素的に収配し数な取り。まとかる 「思考力、判断力、表現力等」 国際諸金の役割。日本の平和主義などについて、多面的・多角的に考覧し、表現寸 6、「学びに向かう力、人間性等] 国際諸金の役割。日本の平和主義などについて、多面的・多角のに考覧し、表現寸 もの、「という」、「しいう」、「しいっしいっし、「	- 指導事項 国際社会のなかで生きる私たち ・教行 教件書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、 砂度を発えられている。 日際連合の役割、 日際連合の役割、 日本を分析に学習に取り組と極度! 日本に学習に取り組を極度! 日本に学習に取り組を極度! 日本に学習に取り組を極度! 日本にいるでは、日本の平和主義などについて、主体的 に発見している。				9
	いて、主体的に追究する。						70
	定期考査			0	0		1

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地歴総合 科目 世界史探究

科 目: 世界史探究 教 科: 地歴総合 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2学年 1組~ 8組

教科担当者: (1組·2組·6組·7組· 8組:近江屋篤史 (3組・4組・5組 :住司憲史)

使用教科書: (東京書籍『世界史探究』 )

教科 地理歴史 の目標:

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

のようにうの。 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想した りする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を 通して満美される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 世界史探究 の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 知識:各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開に ついての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源 との関わりを理解する。技能:諸資料から様々な情報 を外確に論理的に叙述し、説明することが出来る。 を的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。 過去の歴史を学ぶことによって、現代の世界の成り 立ちを理解し、文化的な多様性に理解ある人間性を 身につける。歴史緒的考察を踏まえた上で、現代の を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資する。 諸課題に積極的に取り組み自ら歴史に参加する姿勢 を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 【知識及び技能】世界へのまなざし 古代文明 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	ライド・地図 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	0	0	0	5
	B 単元 【知識及び技能】諸地域の歴史的特質 への問い 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	・指導事項 諸地域の歴史的特質への問い ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	0	0	0	8
1	定期考査		A HAN VA	0	0		1
学期	C 単元 【知識及び技能】アジア、中央ユーラ シア、アフリカ、 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	<ul> <li>・指導事項 アジア、中央ユーラシア、アフリカ等</li> <li>・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	0	0	0	8
	D 単元 【知識及び技能】諸地域の交流と再編 への問い 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	問い	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	0	0	0	7
	定期考査			0	0		1
2	E 単元 【知識及び技能】地球規模での交易の 拡大 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。		【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				15
学期	F 単元 【知識及び技能】一体化していく世界 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向から力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	・指導事項 一体化していく世界 ・教材 教科書・資料集・ブリント・映 像・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				12
3 学	G 単元 【知識及び技能】グローバル化と地球 的課題 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	題	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				8
子 期	H 単元 【知識及び技能】世界の変容と新たな 地球的課題と世界史 【思考力、判断力、表現力等】自然環 境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の 多様性について理解を深める。	・指導事項 世界の変容と新たな地球 的課題と世界史 ・教材 教科書・資料集・プリント・映 像・スライド ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身につけ、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				8 合計 73

## 高等学校 令和5年度(2学年用)地理歴史

科目 日本史探究

2

単位数: 1 単位

 
 教 科:
 地理歴史
 科 目:
 日本史探究

 対象学年組:
 第 2 学年
 1 組~
 8 組

 教科担当者:
 梶原崇史
 紫村康英
 島津聡

使用教科書: ( 詳説日本史探究(山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
に、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果 めに調べまとめる技能を身につけるとうにする	を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構図したり、考察、構想したことをは、関めに対象のように振り、	現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うととも に 多面的・多角的な考察や深し理解を通して涵養される日本国

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 文化の始まり の人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器 文化・飆文文化の時代のか社会を理解する。 辺打製石器・服女石器・縄文工器の発態、竪穴住居 の状況など考古学の成果によって教料書の叙述が成 り立っていることに気づく。	。人類文化の発声 - 旧石部時代 	[新職及び技能] 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と 実容を、自然機関の変化や大陸との影響に着目して理解している。 (18考力、判断力、表現力等) 黒端石などの考古資料をもとに、集 第一展書・支柱的変化などを簡素えて旧石器文化・縄文文化の社 会について考覧し、変視している。 (そのた)向から力、人間性等) 影明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考覧することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	0	0	0	4
	単元、農耕社会の成立 し大陸からの部件伝播の様子や地域性の顕著な道具 の分布を踏まえて、外生文化の形成を考험する。 2集落・基の支撑があるの書積を理解し、小国が形 が高さる。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	- 弥生文化 ・小国の分立と邪馬台国	【知識・技能】未福耕作の開始・金属器の伝統が弥生文化の社会に 身大を影響を開催し、弥生土海がどの出土品から得られる情報を収 集して読み取る存業を少年につけている。 (国本・判断・失理) 小田の形成から馬房自位との小田の連合について、根藻集原で決器の出限。(親志) (像人伝などの文献資料に もとづき。田の本の小田等を描さえて多向向に考頭した結果を、根拠 を示して実現している。 (国本・制度) 日本別島における農耕社会の特色 とらに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考 第することを適して、弥生文化の特色を明らかにしようとしてい る。	0	0	0	2
1 学	○ 展示 古墳文化の原門 ①地域の第分の世界から統一国家に至る過程を、古 域の変容からとらえる。 立せっと数性、とる国家の形成過程について、東ア ジブ世界との関係を踏まえて考索する。 む古墳時代数から終末期の変容と、ヤマト政権の 政治制度を理解する。	,古墳文化	【知恵・技能】国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮平 島との関係に着自して、小国の形成過程や古墳の特色を理解してい 「思考・判断・表現】中国の歴史書の記率、日本列島内外の全石 文、小国の王豪の副耕品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交 がおもつ意味や、小国の形成器能について多面的・多角的に予め し、表現している。 「生体的に学習に取り組む極度】中国大陸・朝鮮半島との関係など に着自して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の 展開とのつながりを見出そうとしている。	0	0	0	3
井期	定期考査			0	0		1
	申 東京 県島の朝廷 ①ヤマト収権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時化を与祭する。 2 飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられる ことを理解する。	・飛鳥時代の政治 ・飛鳥文化	「加廉、技能」施士及島、野戸王・蘇北男子による政権憲策や飛鳥 文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して 理解している。 「優秀・判断・表現」仏教の受容や遺跡使の派遣などの大陸との交 派について、資材をもとに参索した結果を、根拠を示して表現して いる。 「圭体的に学習に取り組む態度」中国大陸・朝鮮半島との関係など に着目して、推告朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に 追死しようとしている。	0	0	0	4
	□ 単元 律令国家の成立と展開 ①律令にもとづく国内政治格制について理解する。 ②平域京における政治動門について、土地政策も含めて考察する。 ③平安前期を中心とした古代国家の権移について、 東北経営や政治改革、地方政治の変容を踏まえて、 律令体制の変質を考察する。	・律令国家の成立 ・平域家の時代 ・平安京と律令政治の修正	【知識・技能】降・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを明新している。 「思考・判断・表現】文献資料をもとに、藤原氏を中核とつるが 「思考・判断・表現】文献資料をもとに、藤原氏を中核とつるが なかの連展と駆用条年紙財に入られる土地解皮の変容と関連づけ て考究し、根拠や示して表現している。 「生体的に学習に取り組む能変」東アジアとの関係の変化や社会の 変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究し ようとしている。	0	0	0	6
	E 単元 古代国家の変容と中世の始まり ①静原氏による景間教徒の成立過程と政治運営への 影響について参容する。 ②地方の反最やその側圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	・摂爾政治の成立 ・地方政治の乱れと武士の台頭	【知識・技能】藤原北京が権力を奪提していく 過程を資料から読み 取り、非合体制の変容の観点から摂関政防を到婚している。 【思考・判断・変現】文献資料を活用して、国司の支配の変容と効 網の変質、狂闘の発達を踏まえて地方支配の状況を考集し、根拠を ボして表現している。 【主体的に学習に取り組む極度】 平安時代の政治の在り方と文化と の関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしてい る。	0	0	0	8
	定期考查			0	0		1
2	平在社会の所まりと同数 い既教期前を一地支配砂を含蓄まえて、院政期の 収拾・経済・社会・文化を理解する。 辺殺拾の動用、回期間保・経済・文化への対応を踏 まえて、平氏政権の特性について考察し、時代を通 観する問いを表現する。	· 院改 - 平氏政権	1 加減・技能3 高級政治や土地間度の変容などをもとに、請資料から得られる情報と看到かの効果がに潤べてまとめ、古代から中世の国家、社会の家家を理解している。 1 選売・判断・乗押1 武家政命の権力基盤となる武士の土地所有に 至応変化を考数・度期1 武家政命の権力基盤となる武士の土地所有に 至応変化を考象し、表別・1 次表別・1 次表別・1 次表別・1 次表別・2 次表別のよりの表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	0	0	0	12
学期	○ 鎌倉衛府の成立と展開 の鎌倉衛府が実国の地方技権から全国的な武家政権 に成足している機能を関係する。 ②序入の私にともなう会間側係の変化と着目して、 特事類裁集権所も執権支援の確立に至る過程を理解 ③センゴル要採による政治・経済・文化への影響 が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。	・鎌倉幕符の成立 ・承久の乱 ・モンゴル 襲来	【知恵・技能】 瀬平争乱から鎌倉幕の成立連程、幕府と朝廷の二 元的支配構造、封徳制度の成立などについて理解している。 【思考・判断、実現】武家と家の関係の変化が土地の支配に及ぼ した影響を考別、世級を明確にして表現している。 【主体的に学習、取扱を研修にして表現している。 【主体的に学記、取組む地図、末、元なとコーランアとの交流と 経済や文化への影響について、主体的に達先しようとしている。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
	所生社会の成立上規則     印世社会の成立上規則     印中世後期から世社社会の成立経緯を開始する。     ②証社会報知の特徴と離後間について考録する。     ③近世社会の支容と江戸時代の経済との関係について考録する。	・室町時代の社会 ・近世社会の成立 ・江戸時代の政治と社会経済	「知識・技能」中世後期から近世にかけての社会の変容過程、社会の構造について可能している。 の構造について可能している。 185、考別を表現をもとに武士や百姓身分の確立や、変容 185、考別を表現をしまった。 12年的に学習に取り組む態度」中世から近世への変容や諸課題について、根拠をもとに説明しようとしている。	0	0	0	6
3 学期	万度化の社会と特徴 の変化国家の成立と国民の誕生の経緯について理解 する。 辺近代の諸県型と上版社会の成立にともなう社会の 変容やその原因について名称する。 辺日本国藩と称射と現代社会の課題について歴史的 経緯をもとに考察する。	・近代国家の成立と国民 ・近代の高麗県と大衆社会の成立 ・日本国憲法体制と現代社会	【知識・技能】近代国家の成立と国民の誕生の経緯について理解している。 【思考・判断・決別】近代の諸課題と大衆社会の成立にともなう社 会の変容やその原因について参島している。 【主体的に学習に取り組む極度】日本国憲法体制と現代社会の課題 について歴史的経緯をもとに考察している。	0	0	0	6
	定期考查			0	0		1
	11		•				合計
							70

## 令和5年度 授業実施計画書

学年	3 年
教 科 名	地 歴
科目名	世界史B
単位数	4
必修選択区分	自由選択
使用教科書	詳説世界史 改訂版(山川出版社)
	ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)
使用副教材	世界史Bマスター問題集(山川出版)
	詳説世界史10分間テスト(山川出版)

組	科目担当者
12	住司憲史

学	1 学 期	古代における諸地域世界について理解を深める。
習の目標	2 学 期	中世ヨーロッパ史、東アジア世界、イスラーム諸国家について講義や演習を通じて理解を深める。 共通テスト演習を行い、実践力の向上を図る。テーマ史にも対応できる力を養う。
標	3 学期	既習事項の成果をふまえ、大学入学共通テスト・国公立2次試験・難関私大入試に 対応できる力を養う。
担当者からのコメント		進学指導重点校として、大学受験に対応できる力を養うことを重視するが、それが 歴史のオーソドックスな学習によって達成されることを体得させる。

成績	観点	授業を軸としつつ、主体的に学習に取り組んでいるか。 特定の地域や国に着目して通史的な理解や、ある世紀・年代に着目した同時代的な理解など、 既習事項についてテーマに応じて再構成することができているか。
評価	方法	定期考査の成績を中心に、授業に取り組む姿勢や小テストなどを考慮して、総合的に判断する。

	学期 時間 指導内容		備考		
	1 学	中間	24	先史・オリエント·エーゲ文明・古代ギリシア・古代ローマ	
	期	期末	24	キリスト教・インド・東南アジア・中世ヨーロッパ	
授業計画	2 学	中間	28	20世紀から21世紀の歴史 テーマ史、問題演習	
画	期	期末	28	共通テスト演習 論述式問題の指導、その他	
	3 学期	学年末	36	大学入学共通テスト前 共通テスト対策 大学入学共通テスト後 論述問題指導 私大・国公立2次対策	共通テスト後は 個別指導中心

東京都立八王子東高等学校

## 令和5年度 授業実施計画書

学	<u> </u>	Ŧ.		3 年	組	科目担当者			
教	科	名		地 歴					
科	目	名		世界史B(世界史演習)	(1)(2)	近江屋篤史			
単	単位数			2					
必修	必修選択区分			自由選択					
使用	1 教 和	斗書		詳説世界史 改訂版(山川出版社)					
使 用	引副 教	材	=	ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)					
Δ /1	. щ.,			版世界史マスターB問題集(山川出版社)					
	¥.		問題の	国史を中心に東アジア史、中央ユーラシア史について、講義を通 演習を通じて既習内容の定着状況を確認する。 、基本的な内容が身についた範囲については、より高度な知識 <i>の</i>					
学 <i>O</i> . 目標	)	2 中国史を中心に東アジア史、中央ユーラシア史について、講義を通じて理解する。過去の大学入試学 の演習を通じて既習内容の定着状況を確認する。 期 また、基本的な内容が身についた範囲については、より高度な知識の体得をめざす。							
榜	崇	3 学期		1 · 2学期の学習の成果をふまえ、大学入学共通テスト・国公立2次試験・難関私大入試に 対応できる力を養う。					
	者か メン		進学指導重点校として、大学受験に対応できる力を養うことを重視するが、それが 歴史のオーソドックスな学習によって達成されることを体得させる。						
月網部	責 平	観点	授業を軸としつつ、主体的に学習に取り組んでいるか。 特定の地域や国に着目して通史的な理解や、ある世紀・年代に着目した同時代的な理解など、 既習事項についてテーマに応じて再構成することができているか。						
個	<b>5</b>	方法	定期:	考査の成績を中心に、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合	- 姿勢などを考慮して、総合的に判断する。				
	学	期	時間	指導内容		備考			
	1	中間	8	古代中国を中心に東アジア史	建業出	<b>次の復習ニュし</b>			
	学   期 期 末		11	隋唐以降の中国を中心に東アジア史	再我內	容の復習テスト			
授業計画	授 中 中 間		14	イスラーム世界を中心にユーラシア史					
画	計学期期		14	問題演習を中に学習内容の定着を図る。	講義内 	容の復習テスト			
	3 学 期	学年末	18	大学入学共通テスト前 共通テスト対策 大学入学共通テスト後 論述問題指導 私大・国公立2次対策	個別	通テスト後は 指導中心			

東京都立八王子東高等学校

## 令和5年度 授業実施計画書

学年	3 年
教 科 名	地 歴
科目名	日本史B(日本史演習)
単位数	2
必修選択区分	自由選択
使用教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社)
	新詳日本史(浜島書店)
使用副教材	新詳述日本史史料集(実教出版)

組	科目担当者
1	梶原 崇史
2	梶原 崇史

学習の目標	1 学 期	近世の政治・社会経済・対外関係・文化に関する事項整理をもとに近世の特色について学習し,各分 野間の関連について考察し,歴史的思考力を身に付ける。
	2 学 期	第二次世界大戦後の通史学習を通し,民主的・平和的な社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対 応できる資質を養う。
	3 学期	1・2学期の学習の成果をふまえ,大学入学共通テスト・国公立2次試験・難関私大入試に対応できる力を養う。
担当者からの コメント		分野間の関連の整理や資史料の適切な解釈などの歴史的思考力を養うことを通し、論述問題を含めた 大学入試への対応力を高める。

成績評価	観点	史・資料を踏まえて,近世国家の社会や文化の特色を実証的に考察し理解できたか,近現代国家の形成と社会や文化の特色について国際環境と関連付けて理解できたかを,「興味・関心」「思考・判断」「史料活用の技術」「知識・理解」に基づき評価する。
	方法	定期考査のほか,小テストや授業の参加姿勢などを総合的に判断して評価する。

	学期		時間	指導内容	備考
授業計画	1 学 期	中間	12	近世史の概説	必要に応じて復習テストを 実施する。
		期末	12	近世史の概説	
	2 学期	中間	14	戦後改革と経済復興・経済の高度成長	必要に応じて演習問題を扱 う。
		期末	14	高度成長の終焉・現代の諸課題・近現代文化史	
	3 学 期	学年末	18	問題演習(テーマ史)	総復習と大学受験直前の確認。共通テスト後は個別指導で対応する。

東京都立八王子東高等学校